

新型コロナ「第4波」から県民の命を守る緊急署名

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は「第4波」に入っています。ウィルスは感染力の高い変異株へ置き換わり、県民の不安は広がっています。医療体制は逼迫し、中小業者も悲鳴を上げています。

ワクチン接種が始まりましたが、国民に行き渡るまでの見通しは不透明です。いま必要なのは科学に基づくコロナ対策です。日本共産党は「第4波」を封じ込めるために、①コロナ封じ込めのための大規模検査、②中小企業が事業を続けられる十分な補償、③医療機関への減収補填とあらゆる手段を尽くしての病床確保、④今夏の東京五輪・パラリンピック中止の決断、政府に対しこの4つの政治決断を求めています。

政府も野党の追及に無症状感染者を把握し、保護する大規模検査の必要性をようやく認めました。しかしその規模とスピードは感染拡大に追いついていません。三日月県政も感染拡大地域の面的検査や高齢者施設などへの社会的検査には消極的です。一方、広島県は早い段階から2本柱(①医療機関での社会的検査、②感染震源地・急増地での面的検査)で戦略的な検査を実施してきました。4月1日からは約280万人の全県民と、県内で働く人を対象に、いつでも、誰でも、何度でも、無料でPCR検査を受けられる体制をスタートさせ、「第4波」の封じ込めに力を注いでいます。滋賀県政もコロナから県民の命、暮らし、営業を守ることに力を集中すべきです。

具体的に以下の点について緊急に要求します。

【要求項目】

- (1) 医療機関、介護施設、福祉施設などの関係者に定期・頻回のPCR検査を行うこと。感染拡大地域の面的検査を行うこと。
- (2) 病床確保に力を尽くすとともに、医療機関への県独自の財政支援を強めること。
- (3) 中小零細業者への県独自の財政支援を強めること。
- (4) 国に対して雇用調整助成金の延長や持続化給付金・家賃支援給付金の第2弾を求めること。

氏名	住所

取り扱い団体 (日本共産党)